

答 辞

冬の厳しい寒さも和らぎ、徐々に春の暖かさを感じる今日の佳き日に、私たち二十名は、この思い出多き豊間中学校を卒業いたします。

先ほどは、校長先生からの温かいご祝辞、在校生の皆さんからの励ましの言葉をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

中学校での新しい生活に期待と不安を抱きながらスタートした3年間は、本当にあっという間に過ぎていきました。豊間小学校からのメンバーに新しい仲間が1人、その後2人の仲間が加わり、20名で過ごした中学校生活。うれしいこともつらいことも分かち合った、数え切れない思い出が、今あふれ出してきます。

1年生の頃は、新しい生活と小学校での生活が大きく異なり、小学校との違いに戸惑いながら生活をしていました。勉強と部活の両立が難しく、新しい生活に慣れることに毎日必死でした。そして、やっと中学校生活にも慣れ、日々勉強と部活動の両立を頑張っていた1年生の冬。新型コロナウイルスが流行し始め、3月に学校が休校になってしまいました。

自分達が「先輩」になったことや、久しぶりにみんなと会えることに心を躍らせ、2年生として登校した4月。しかし、再び休校となり、当たり前に登校して、みんなと「おはよう」と顔を合わせる日常が恋しく感じました。

休校があけ、学校が始まっても、マスクを常に着用し、三密を防ぐ行動を余儀なくされ、前を向き、黙って給食を食べるなど、全てがいつも通りの生活には戻りませんでした。コロナ前の生活に戻って欲しいと何度、願ったか、数えきれません。

そんな中でも、限られた大会で結果が出せるよう、仲間と切磋琢磨し、努力した部活動。仲間と共に汗、涙を流したことは中学生にしかできない経験だと思います。自分が出せる全力を出し切り、中学校の部活動を終わることができました。

大自然の景色や音を感じ、自分の見方や視野を広げることができた山形への修学旅行。この旅行で、友達や先生の新たな一面を発見することができ、充実した2日間を過ごすことができたと感じています。

そして、中学校最後のみよび祭。私たちはみよび祭当日の約1週間前に修学旅行が控えていたため、限られた時間の中で準備を進めるしかありませんでした。学級での話し合いでは、なかなか意見が出ないまま時間が過ぎていき、焦りながらも、なんとか劇を完成させることができました。試行錯誤を重ね、完成させたみよび祭は達成感と充実感で満たされました。

私たちは、この豊間中で、うれしいこと、つらいことを共有し合える仲間を19人も得ることができました。そんなかけがえのない友達と出会えたことは私にとって一生の宝物です。「高校入試」という壁もみんながいたから乗り越えることができました。思いやりと笑顔にあふれるみんなと3年間一緒に過ごすことができてうれしいです。充実した3年間と数え切れないたくさんの思い出を本当にありがとう。

この3年間で、私たちは、勉強以外のこともたくさん学び、心身ともに大きく成長することができました。こうして私たちが成長できたのも、校長先生を初めとする、豊間中のたくさんの先生方が私たちを温かく見守ってくださり、時には厳しく叱って導いてくださったおかげです先生方から教えていただいたことを胸にこれからも歩いていきます。本当にありがとうございました。

そして、3年間、私たちを側で見守り、私たち1人1人のことを真剣に考えてくれた彰太先生。くだらないことで一緒に笑い合ったりした時間も全て思い出です。私たちの担任というのは、大変だったかもしれないけれど、私たちは先生が担任の先生で本当に楽しかったです。

これまで育ててくださったお父さん、お母さん。どんなときも私たちを励まし、寄り添ってくれるその温かさが本当に嬉しかったです。普段は照れくさくて言えないけれど、いつも感謝しています。私たちはいつか自立し、親元を離れていきますが、それまでもうしばらくお世話になります。

在校生の皆さん、今まで私たちを支えてくださりありがとうございました。3年間は本当にあっという間です。1日1日を大切に、残りの中学校生活を楽しんでください。

これから私たちは、それぞれの進路に向かって一步一步自分の足で歩いていきます。今後、大きな壁にぶつかったとしても、この豊間中で得た多くの思い出、学んだことを思い出し、きっと乗り越えて行きます。

最後になりますが、私たちを温かく見守ってくださった全ての方々に、心から感謝を申し上げ、豊間中学校のさらなるご発展を心より祈念して、答辞と致します。